委員会審査

6月定例会で常任委員会に付託された議案について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長　上田栄一

◆自主防災組織の機材整備について

問　現在の要望状況、および今後の統一的な助成のあり方はどうなっているのか。

答　現在、7団体から同様の要望が出されており、毎年1団体のペースで助成を受けている状況です。

昨年度から各地域の自主防災組織に対し、活動費のほか、防災資機材の整備にも活用できる活動補助金を交付しています。さらに、今後、防災意識の高まりと共に、様々な方法で新しい支援に取り組んでいく考えです。

◆離島航路運営補助金について

問　欠損金と市の赤字補填の状況はどうなっているか。

答　昨年の欠損金は約3,530万円であり、国・県の補助を受け、残りの市の負担は約410万円です。またこの負担に対して8割が特別交付税に参入されることから、赤字補填の大部分が国・県からの支援をいただくことになります。

青島との定期連絡船「あおしま」

問　新しい船が進水するが、イベント等でも活用する仕組みを整えているのか。

答　現在、鉄道運輸機構と青島海運が共同で新造船建設を進めています。定期航路の範囲の中でイベント等の利用は可能であり、その際には綿密な事業計画を行い、収益性を確保した運営を行うよう、イベントの実施主体と十分な協議を行った上で利用したいと考えています。

厚生文教委員会

委員長　安川哲生

◆スクールバス・保育所バス運行管理業務委託について

問　事業者の応募要件は。また、選定委員に専門的知識を有する者を採用する考えはないか。

答　応募要件は、県内に本店・支店・営業所等を置き、法人格を有するなどを募集要領で定めています。

また、選定審査会委員については、職員で審査をさせていただき、その上で会計士や運輸局職員等の外部有識者からの意見を求めることを考えています。

問　民間事業者に委託することで、適切な運行管理は確実に図られるのか。

答　民間事業者へ委託することにより、専門的な知識を持った業務管理や運行管理責任者による対面での運転手の体調管理等が行われ、より安全で安心な運行が確保されると考えています。

また、教育委員会としても、事業者において業務の点検や改善が的確に実施できているか把握するため、引き続きモニタリングを行いたいと考えています。

意見　スクールバス等の運行管理業務を民間事業者に委託することについては賛成するが、園児・児童・生徒の安全・安心を第一に考え、業者選定には慎重な姿勢で臨むとともに、民間事業者に任せきりにするのではなく、評価と検証を十分に行い、責任を持って指導・監督を徹底していただき、適切な運行管理に努めるべきである。

◆学校施設整備手法検討業務について

問　整備手法の概要はどうなっているのか。

答　平成23年度に策定されたこの計画は、期間を31年度までの9年間とし、改築や耐震補強・大規模改造工事を実施しようとするもので、概ね3年ごとに見直しを行うこととしていますが、事業計画を推進する中で、当初計画より実施が遅れている事業が発生しています。また、耐震補強については地震特措法による交付金交付割合の嵩上措置が27年度末を持って期間が満了となるなどの課題が生じてきています。

このため、事業開始から3年目を迎え、課題を踏まえたうえで、実施計画の見直しに合わせて事業の進捗状況や財源確保、民間活力を導入した事業方式による体制等を考慮して、整備手法の検討を行い、今後の施設整備の推進を図りたいと考えています。

産業建設委員会

委員長　西村豊

◆地産地消拠点施設設備強化支援事業について

問　当初の計画における給水能力と来場者数の推移及び売上高の詳細はどうなっているのか。